

JT岐阜支社が 森林保全の活動

中津川

日本たばこ産業(JT)岐阜支社は、中津川市蛭川の「JTの森 中津川」で森林保全活動を行った。

水源林としての機能や生態系の保全など森林機能の維持・回復を目的に毎年取り組んでおり、今年で17年目。JTグループ従業員とその家族ら約80人が参加し



伐採した木を切る参加者ら＝中津川市蛭川、JTの森 中津川

た。

冒頭、小栗仁志中津川市長が「長年の保全活動のおかげで森が力を取り戻している」とあいさつ。現場では、大人がのこぎりでヒノキなどを間伐し、子どもたちは伐採した木の枝を切り

落したり、輪切りにしたりする下処理を担当した。

ヒノキがきしむ音とともに倒れると、参加者から大きな歓声が上がリ、作業を通じて里山の手入れが森林の健全化につながることを学んだ。

(佐合千子)